

# 「2025年 昭和から100年を振り返る」

## 奈良と和歌山が歩んだ過去と未来

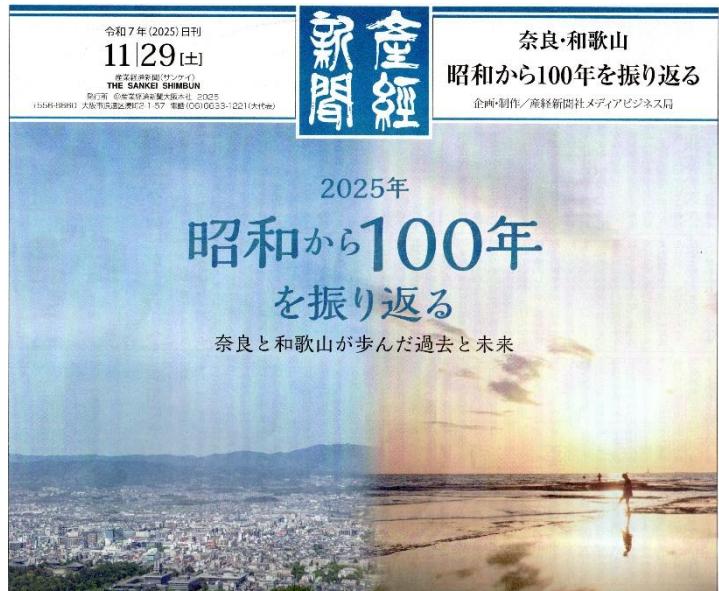
令和7年（2025）11月29日発行 企画・製作/産経新聞社メディアビジネス局

令和7(2025)年は「昭和100年」にあたります。大正15年(1926)12月25日、大正天皇が崩御され、昭和元年とする旨の改元の詔書が発せられました。以来、先の大戦を経て、戦後復興から高度成長、バブル経済へと突入した昭和という時代。

産経新聞社から別冊タブロイド版「奈良・和歌山 昭和から100年を振り返る」が発行されました。

- ・「昭和から100年」のふるさとの歩み
- ・「これから100年」未来を担うあなたへ
- ・「昭和から100年」ふるさとの記憶、時代とともに

昔の写真を掲載し説明されています。その中から、当館の「奈良の今昔写真WEB」の写真を使用した記事を紹介します。



### わかくさ国体開催

奈良県で初めての国民体育大会となった「わかくさ国体」は、1984年（昭和59年）に開催されました。  
スローガンは「駆けよ大和路 はばたけ未来」。夏季大会（4競技）は奈良市と大和郡市五條市、月ヶ瀬村、吉野町、兵庫県芦屋市で開催され、4384人が参加。秋季大会（33競技）は県内の28市町村で開催され、2万124人が参加しました。国体は2024年（令和6年）から国民スポーツ大会に名づけられました。



### 古都奈良の文化財が世界遺産登録

1998年（平成10年）に世界遺産に登録されました。8つの資産全体が一つの文化遺産として登録されたもので、奈良県では「法隆寺地域の仏教建造物」に続き、2つ目の世界遺産となりました。  
古都奈良の文化財は、日本の歴史に政治的・文化的変化をもたらした、極めて重要な時代でもある8世紀（奈良時代）の宗教、生活の在り方を伝えているなど高く評価されました。



シルクロードの文化が遣唐使によって平城京にもたらされたことから、奈良はシルクロードの終着点ともいわれます。奈良市の平城

宮跡と奈良公園周辺では1988年（昭和63年）に「なら・シルクロード博覧会」が開催されました。メインテーマは「民族の英知とロマン」。天平の昔、荒れ狂う大海を越えて唐に留学した若い僧たちを描いた歴史小説「天平の夢」などで知られる作家の井上靖が、総合プロデューサーを務めました。海のシルクロード館には遣唐使船を展示。半年間で約68万人近くが来場しました。

### なら・シルクロード博覧会

シルクロード館には遣唐使船を展示。半年間で約68万人近くが来場しました。海のシルクロード館には遣唐使船を展示。半年間で約68万人近くが来場しました。